

漁海況情報第2報 (2010年5月18日発行)

宮城県水産技術総合センター

連絡先：0225-24-0153

本報は「<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>」でも公開中です。

1. 海況

本県沿岸から沖合では水温が低い状態が続いています。

本県沿岸から沖合の表面水温は、前月に比べ、1～6 昇温して8～13 台になりました。平年との比較では本県沿岸海域(142°30' E以西)は平年並みから2 低めとなっており、142°15' E付近では7～8 台となっていました。沖合海域(142°30' E以东)は11～12 台となっており、平年並みから1 高めとなっています。

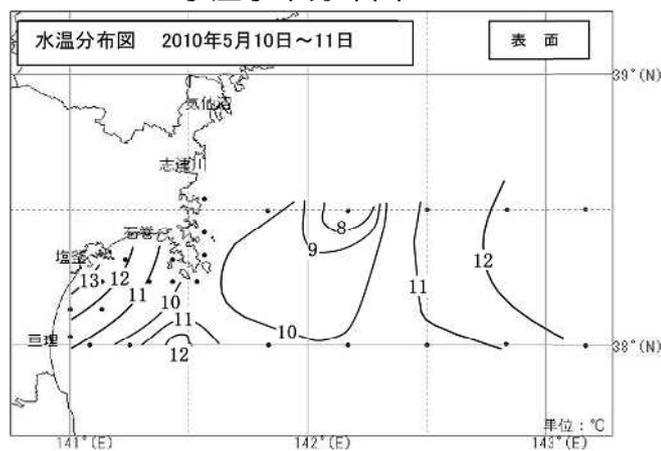
100m 深水温については、2～7 台で前月同様に低い状態にあります。[P1.水温水平分布図][P1.水温平年偏差図]

水温鉛直断面図をみると、巨理沖合ラインの水深100m～200mで1～4 台の冷水がみられています。[P2.水温鉛直断面図]

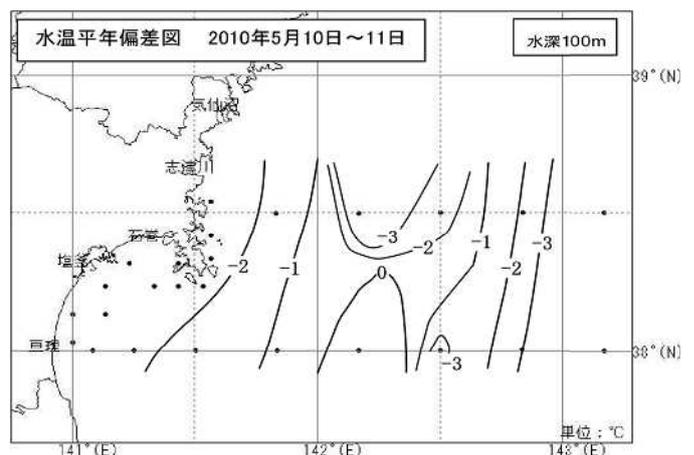
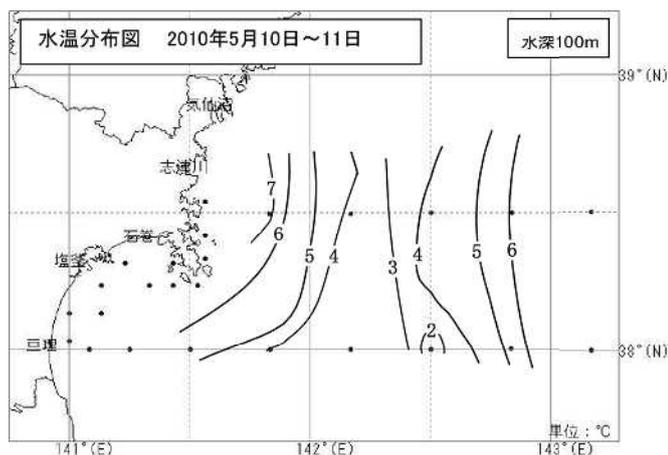
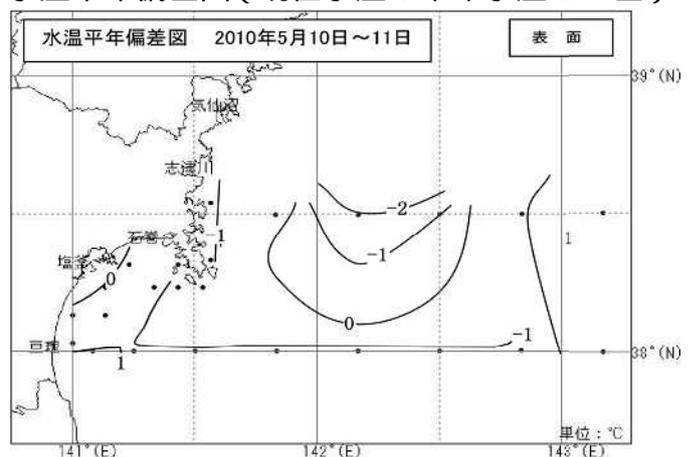
4月下旬の定地水温は平年と比べて低めから極めて低めで推移しました。5月上旬に入って昇温し、平年並みからやや低めとなっています。[P2.定地海洋観測結果]

東北海域の表面水温の分布について、本県沖合143°30' 付近まで15 台の暖水が波及しています。[P2.東北海域の海況図:(社)漁業情報サービスセンター]

・水温水平分布図



・水温平年偏差図(現在水温と平年水温との差)

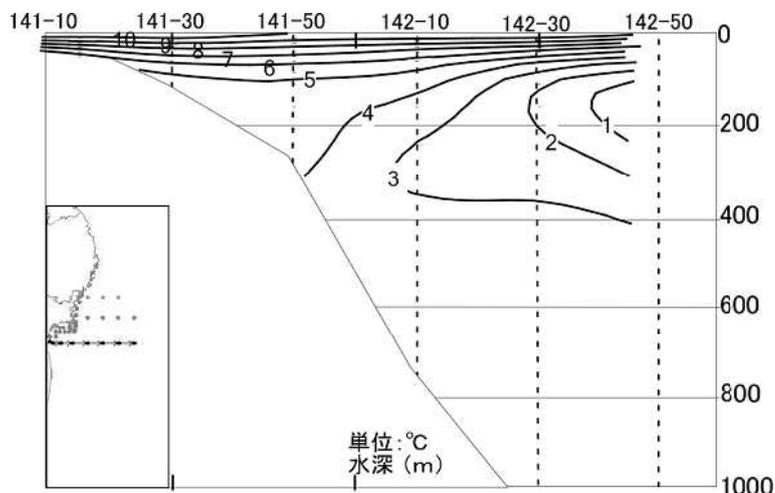


海洋観測は拓洋丸と開洋が実施しました。

拓洋丸による沿岸定線調査は観測途中にCTD ウィンチシフターの不具合が起き、底層までの観測は38°Nラインのみとしました。

・水温鉛直断面図

38°Nライン(巨理沖合ライン)



特記事項 (社) 漁業情報サービスセンター

- ・表面水温は全域で昇温基調。沿岸の南下冷水も後退。前年比は並みから低め。
- ・鹿島灘は15~19 台の暖水が接岸~北上。
- ・塩屋崎沖に11~18 台の顕著な潮境が分布。
- ・常磐~東北沿岸36 39°N・141 142°Eを昇温基調で11 20 の暖水が広く北上。同北上暖水東沖で34 38°N・146°E沿いを13 17 の冷水が南下。
- ・三陸沿岸~沖合39 40°N・142 144°Eに11 の暖水が分布。同暖水東沖は6 8 が緩やかに分布。
- ・津軽暖流は9~10 に昇温、7~9 が沖合に張り出す。

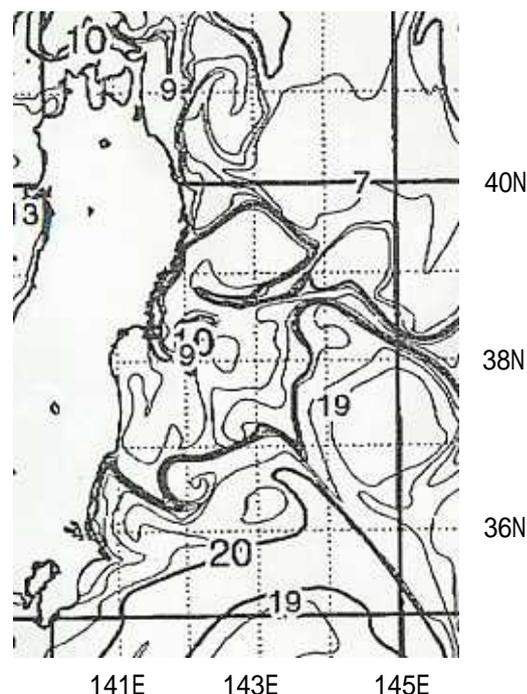
・2010年5月11日の東北海域の海況(表面水温) (社) 漁業情報サービスセンター

・定地海洋観測結果()

	4月下旬(平年比)		平年差	前年差
歌津	6.5	(極めて低い)	-2.2	-2.9
江島	6.7	(低い)	-2.1	-2.9
田代島	8.3	(極めて低い)	-2.0	-2.2

	5月上旬(平年比)		平年差	前年差
歌津	8.4	(やや低い)	-1.4	-3.1
江島	8.7	(やや低い)	-1.0	-2.4
田代島	11.6	(平年並み)	-0.2	-2.0

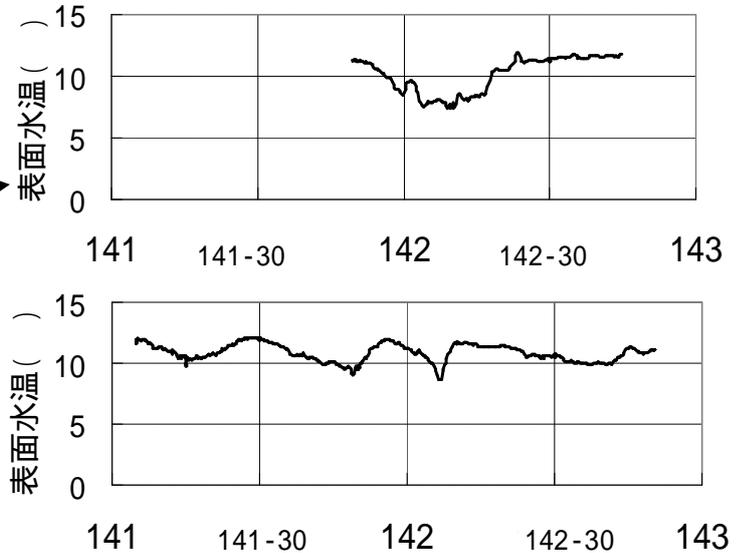
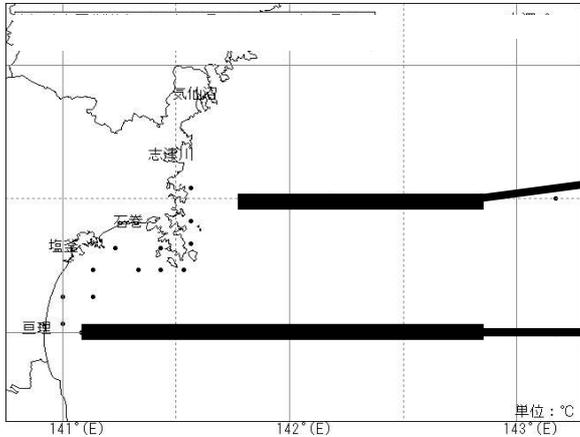
平年差は、江島、田代島：過去30年間、歌津：過去10年間との比較。
毎日の定地水温情報は当センターホームページでも見られます。
(<http://www.pref.miyagi.jp/mtsc/>)



2. 表層水温情報

拓洋丸に搭載している「表層モニタリングシステム」で取得した航走表面水温は、下記のとおりです。

- ・ 38°30 ラインは 8~12 台となっており、142°05 ~142°15 E 間で水温が 7~8 台と低くなっています。
- ・ 38°ラインは、8~12 台になっており、142°05 E 付近で水温が 8 台となっています。



3. 漁況

主要魚種の県内10魚市場の水揚量。(集計期間:2010年4月1日~4月30日, 単位:t)

魚種	沖底	小底	刺網	定置網	船曳網	敷網・抄網	ランプ網	その他	総計	前年比(%)
コウナゴ	0	0	0	0	0	0	786	0	786	56
メロウド	0	0	0	4	0	333	0	1	338	34
ツノナシオキアミ	0	0	0	0	8,192	287	0	0	8,480	102
カタクチイワシ	0	0	0	3	0	0	0	0	3	1
スケトウダラ	581	2	0	0	0	0	0	114	697	115
マダラ	1,526	21	1	2	0	0	0	451	2,000	730
イトヒキダラ	121	0	0	0	0	0	0	0	121	20

宮城県総合水産行政情報システムによる集計(暫定集計値)

4. 春漁の状況について

本県のコウナゴ漁については3月25日から操業を開始し、5月10日現在で1,516tの水揚げとなっており、実績は昨年度並と低調なレベルで推移しています。また、現在の主な漁場は波島沖水深30m前後と限られた範囲にあります。

また、オキアミについては4月20日に漁獲枠の18,500トンに達して終了となっています。

5. 調査船運航計画

拓 洋 丸	
5月17日 ~ 22日	鯨類餌生物調査
5月26日 ~ 28日	沿岸定線調査
開 洋	
5月19日	マアナゴレプト調査
5月20日	女川湾底質調査
5月27日	マアナゴレプト調査